

第2回 実践交流会(対面)

「多様性が活かることばの教育実践2025」 私の実践を語り・子どもの姿に学ぶ

in
東海

日時: 10月19日(日) 13:00-16:30

会場: 南山大学 ライネルス中央図書館 NANTOルーム

愛知県名古屋市昭和区山里町18

定員: 20名

申し込み: グーグルフォーム

<https://forms.gle/1rhNc9bwdkVtTZKR7>⇒

申込期間: 9月1日~10月12日



日本語教育・支援に関わっている教員・支援員・支援者の皆さんが、相互に実践を語り合い・学び合う場を設けることにしました。子どもたちも多様であれば、教育・支援の現場も多様です。教育・支援に携わる皆さんは、この多様性を活かして子どもがことばを豊かに働かせる力を高めるために、教育・支援活動で創意工夫をなさっています。実践交流会では、参加される皆さんにご自身の実践について語り合ってください。授業のプランや教材、子どもの成果物など、実践の実際がわかる資料をもとに、子どもたちが何を学んだのかを検討するとともに、子どもの姿から明日の教育実践について学びたいと思います。その対話のプロセスで、子ども観、学習観、言語観が交差し、きっと創発が得られ、次なるアイデアが飛び出します。ぜひご参加ください。

★交流会に参加される皆様へ★

交流の時間に、ご自身の実践をご紹介します。紹介くださる実践の概要(対象・実践の場・活動のタイプ・持参する資料等)を、グーグルフォームにご記入・ご提出ください。

プログラム

13:00 開会

13:10 実践事例紹介

井村美穂・森井えみ(子どもの国)

中村夏帆(愛知県岩倉市立南部中学校)

14:30 実践の交流

45分間のセッション×2回 一人15分ずつの紹介・質疑応答

16:00 振り返り

「実践を語ることで見えること・子どもの姿から学んだこと」

コメンテータ: 川口直巳(愛知教育大学)・上田崇仁(南山大学)・河野俊之(横浜国立大学)

16:30 閉会

「実践」って??

単元や1時間単位の日本語の授業に限りません。

「ことばの教育」に関わる日頃の教室活動、

「多様性が活かす」子ども同士の関係づくり等

の工夫や取り組み、校内のチームづくりや学

校・地域の連携のチャレンジ等も含まれます。

例)・中学1年「どんな部活動がある？」(JSL

トピック型)・「あさがお教室(日本語学

級)」の掲示・地域での学びを在籍学級で生か

す工夫

お問い合わせ



NANZAN
UNIVERSITY

主催: 東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進機構

担当: 河野俊之・工藤聖子・稲田直子

連絡先: knihongo@u-gakugei.ac.jp

共催: 文部科学省委託 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(中部ブロック)

担当: 上田崇仁

連絡先: jltc-chubu@nanzan-u.ac.jp